

山田小学校だより (Metamorphose)



文責 校長 谷川晴峰

いよいよ2学期も、最後の週となりました!

今週22日は、二十四節気の一つで「冬至」です。この日、北半球では太陽の南中高度が最低で、一年の中で、昼間の時間が一番短くなります。この日を境に、また少しずつ日が長くなっていくので「一陽来復（いちようらいふく）」とも言われます。昔から、冬至の日には、カボチャを食べたり、ゆず湯に入ったりする習わしがあります。ビタミンの多いカボチャを食べ、風邪に対する抵抗力をつけると共に、ゆず湯につかって体を温め、厳しい冬を乗り越えようとした、先人の知恵なのだと思います。（カボチャもいいですが、「おでん」も捨てがたいですね）

22日の夕食時には、冬至の意味や昔の人たちの知恵について、子供たちに話して聞かせてください。宇宙の不思議さ、大自然の叡智（えいち）を感じられることでしょう。

ちょっとした配慮が、あるとないでは、大違い!

「朝の職員室は、静寂な雰囲気に入れられ、子供たちの登校を見守って……。」という訳にはいきません。特に教頭先生は、出勤後、短時間で数多くの仕事をこなさなければいけません。各施設の鍵を開け、機器類の電源を入れ、各種文書に目を通し、子供たちの登校の様子に気を配り等、口では簡単なようですが、これだけではありません。

一番気を遣うのが、電話対応です。冬の時期になると、インフルエンザ等の影響により、欠席の連絡が数多く寄せられます。内容をメモにとり、担任の先生へ手渡し、記録を残します。次々にベルが鳴る場合もあります。保護者の皆様方の御理解と御協力により、ほとんどの場合、何の問題もないのですが、**たまに欠席や遅刻の連絡が無いために、子供たちの所在や様子が確認できない時があります。**

朝の忙しい時間ですから、「つい、ウッカリ……。」という事もあるかもしれませんが、定刻を過ぎても子供たちの顔が見えないと、学校全体が心配し、所在の確認等で時間を取られ、一日の始まりに乱れが生じます。**一本の電話、数行の連絡帳、簡単な言付けが、とても大切な役割を果たしてくれます。**本校では、お子様方の出欠や遅刻・早退に関することについては、特に気を付けて対応していきたいと考えています。各御家庭におかれましても、これまで以上の御配慮をお願い申し上げます。

年末・年始を安全に過ごしましょう!



年の瀬は何かと慌ただしく、世の中全体が少しばかり浮かれ気味になります。そのような雰囲気を味わうことも、楽しむことも大切ですが、気持ちを引き締めて、この一年間を終えたいものです。

連日、テレビや新聞等では、様々な事故や事件の発生が報じられています。遠い世界の出来事ではなく、すぐそこにある危機だと考えなければなりません。「**自分の身は自分で守る**」との自覚をもって生きていかなければならない、悲しい時代の到来なのかもしれません。

これから年末・年始にかけて、交通事故はもちろん、色々な事故や事件に巻き込まれることなく、健やかな冬休みを迎えてもらいたいと思います。各御家庭でも子供たちの安全管理につきましては、しっかりと話し合い等をしていただき、徹底に努めていただければ幸いです。